

サラリーマン川柳(年賀状余計なこととするスナックママ)(席順で楽しさ決まる新年会)

(瘦せたねえーその一言が平和呼ぶ)

(Mサイズ試着の後はLサイズ)



# 湯沢町社会福祉協議会で働く仲間 新規労組を結成し自治労加盟

## 不安定雇用の解消と労働環境改善求め 正職員・臨時職員が一体となって組合運動開始

湯沢町協会は、湯沢町が進めている指定管理者制度により介護事業を受託して地域の高齢者福祉事業の先頭に立って活動している。そのような中でも、指定管理者制度からしていつ受託事業者が変わるか分からない中で、雇用不安と将来不安を抱えた中での労働環境で職員は働いているのが現状。

自治労新潟県本部の主体的働きかけにより労働組合結成にこぎ着けたもの。結成当日は勤務後、同町カルチャースタジオセンターに集結して大会。組織化を担うとして、中山オリーブが会長を担うとして進行。自治労本部の豊岡書記次

介護事業などを中心にして運営されている湯沢町社会福祉協議会で働く仲間が、自治労からの働きかけにより正職員と臨時職員が一体となって1月20日(火)午後6時30分から労働組合結成大会を行った。

湯沢町協会は、湯沢町が進めている指定管理者制度により介護事業を受託して地域の高齢者福祉事業の先頭に立って活動している。そのような中でも、指定管理者制度からしていつ受託事業者が変わるか分からない中で、雇用不安と将来不安を抱えた中での労働環境で職員は働いているのが現状。

自治労新潟県本部の主体的働きかけにより労働組合結成にこぎ着けたもの。結成当日は勤務後、同町カルチャースタジオセンターに集結して大会。組織化を担うとして、中山オリーブが会長を担うとして進行。自治労本部の豊岡書記次



第631号 2009.2.1  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円



# 連合新潟・地方委員会 09春季闘争方針と 雇用確保の闘い決定

非正規・正規の雇用確保に不可欠の賃上げ闘争確認

1月26日(月)連合新潟は第43回地方委員会を開催。主催者を代表して登壇した江花会長は、連合新潟が非正規労働者センターを設立して具体的に展開している派遣切れ・社員寮退去者の支援活動を紹介した上で、これらの労働者の雇用確保のために賃上げが不可欠であることの理論整理と、真のワークシェアリングには、労働基準の柱である週40時間労働を35時間などへの法整備が極めて合理的で恒常的な雇用対策であることが示された。

1月26日(月)連合新潟は第43回地方委員会を開催。主催者を代表して登壇した江花会長は、連合新潟が非正規労働者センターを設立して具体的に展開している派遣切れ・社員寮退去者の支援活動を紹介した上で、これらの労働者の雇用確保のために賃上げが不可欠であることの理論整理と、真のワークシェアリングには、労働基準の柱である週40時間労働を35時間などへの法整備が極めて合理的で恒常的な雇用対策であることが示された。



# 環境保全活動団体合同新年会

連合中越・国民市民担当やSJネットも参加

1月29日(木)午後6時30分から煉瓦亭にて環境保全に関わる活動団体の合同新年会が盛大に開催された。当日参加した団体は

地域循環ネットワーク、柿川に親しむ会実行委員会、エコファーム新潟、そして連合中越の国民市民担当・SJネットから31名が参加して実施された。

各団体の代表が挨拶した後、サークルみずばの発声で乾杯。日頃、それぞれの団体毎に特色をもって地域活動を展開しているが、一堂に会して交流する場が少ないだけに盛り上がった交流会となった。柿の炭焼工房で活動している最年長者は82歳だが、元気に交流されていた。

見なくっちゃ  
聞かなくっちゃ  
言わなくっちゃ

●1月中旬に長岡市内のAPレル関係の某会社「廃業」を決議して従業員に解雇通知を行った。従業員24名中、18名が中国からの研修生・実習生。

●日本に来て研修期間1年、実習期間2年の計3年間が基本。研修生は、仕事や日本の生活になじむ期間として「賃金ではなく生活費」が支払われる。最低賃金の適用も受けない。

●2年目、3年目の実習生になって、労働基準法の適用を受け、賃金を受け取る仕組み。

●中国でも「倒産・破産」という仕組みがあるので、彼女らは自分の置かれている状況は理解できても、日本では働いて、仕事を覚えず、働いたお金を持ち帰る、という本来目的からかけ離れた現実にならざるを得ない。

●1月18日(水)連合中越・にいがたユニオンが彼女らから労組加盟してもらって団交を行った。1人一律40万円を会社が支払うことと合意した。彼女らは、研修・実習を最後まで達成出来ない中で帰国を悔しがった。

●研修・実習生制度は現状には対応できず、すでに制度疲労している。見直すべきだ。

サラリーマン川柳 (電話では言えぬ文句 切って言い)

(長電話 間違え電話も 長電話)

(サラ川は 弱き戦士の 子守唄)

(サラ川も 勤める先が あればこそ)



### 長岡市

## 市政要望に文書と補足説明で回答

### 雇用環境の改善に全力で取り組む姿勢示される

平成21年度の長岡市予算編成に向けた要望に対して1月29日(木)小野塚副市長より文書での回答と捕捉説明がなされた。

連合中越からは矢島議長、横沢・小林副議長、金子事務局長、今井事務局次長が出席。回答書を受理した後フリーでの質問や市側の考え方などが具体的に説明がなされ、有意義な意見交換がなされた。

長岡市が発注する各種の入札・契約について単に価格のみではなく、総合評価制度を確立すべきとの要望に対して「その通りと考える。ただ、総合評価の基準は簡単ではない。あまり時間をかけられない事例もあるし、価格要素8割、評価要素が2割という事なども



例などについての質問や意見に対して、ひとつひとつ丁寧な説明がなされた。

連合中越政策委員会としては、各産別・単組に回答書を配布して意見を徴収した上で、回答書に対する精査を行うこととしている。より沢山の積極的な意見を寄せていただくようお願いしたい。

## 長岡地区の連絡会発足へ

### みどり百年物語

1月28日(水)ながおか市民センター会議室にて、(財)みどり百年物語協議会の長岡地区連絡協議会の結成準備会が開催された。県内に同財団の連絡協議会は複数立ち上げられた。

それぞれが地域内で活動している中で、お互いの横の情報交換も大切であることが共通認識で一致した。4月下旬頃を念頭に連絡協議会を設立させることとなった。

フリーの意見交換では、活動を継続していくための資金の確保や若者、子供たちを活動に参画させていくことの重要性が打ち出された。また、単に森だけではなく、広く環境保全活動全体の中で、森を見つめていくことの大切さも紹介された。小千谷、魚沼、柏崎地域も対象とした広域的な協議会となる予定。

## 連合小千谷支部だより



あけましておめでとうございます。ユキワ精工労働組合です。地協では小千谷支部、産別ではJAM新潟に所属しています。当組合員総数は130名、執行部は委員長以下11名で活動しています。

この写真は、昨年12月13日に行われた組合・会社主催のクリスマスパーティー餅つきの風景です。子供達が沢山集まりお父さんが杵を持っている情景です。その他の活動としては、ソフトボール大会・ビール祭り等が開催されます。春闘・夏季一時金などの賃金交渉もさることながら、組合員・家族同志のふれあいも大切にしようと考えています。今年は厳しい年になると思いますが、宜しくお願いします。

## 連合北魚沼支部だより

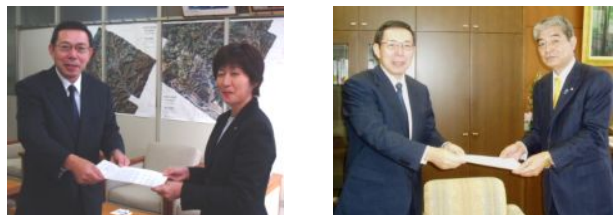
### ○ 北魚沼支部新春“旗開き”を開催



本年も1月21日会館魚新にて北魚沼支部の旗開きを開催してきました。比較的穏やかな年末年始の気象とは裏腹に、労働者、勤労者を取り巻く現状には厳しいものがある中で、今年も初参加の単組もあるなど58名の参加者で賑やかに開催されました。

来賓の矢島議長の挨拶等の後、全単組から本年の抱負や、紹介をいただき、又、恒例の抽選会も行うなど単組交流にも力を入れてきたところ。締めくくりは、恒例の森山支部長の“団結ガンパロー”を、全員で唱和し、LSCを含め支部活動のさらなる前進を確認してきました。

### ○ 「景気後退による解雇・雇い止め、雇用不安に対する緊急要請」を実施



昨年12月15日(月)、川口町、魚沼市の首長に対し支部長、事務局長にて、要請書を提出してきました。

当日のやりとりで、「予算について限界があるが、内容については、大枠的に理解できるし、関係団体と連携を図る中でアンテナは広げていきたい。連合としても全国組織を活用し、国にも強く働きかけていただきたい。」など意見交換も行って来ました。